

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>本年度は「5 わからない」という選択肢を追加したため、どの項目でも肯定的評価が下がってしまった。肯定的評価の減少分と「わからない」の回答割合はほぼ同率であることがほとんどであった。生徒の①の回答が10ポイント、保護者の①の回答も6ポイント下がった。学校教育目標や教育方針を家庭に周知することと、生徒には具体的な目標をたてさせ、それを意識して生活に臨ませる必要がある。</p>
	生徒	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校だよりや保護者会等を通じて、学校教育目標や教育方針を周知していく。下位目標としての具体的な取組を知らせていく。生徒にも学期ごとや月ごとの具体的な行動目標を立てさせていく。</p>
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○学校教育目標・教育方針・目指す学校像・生徒像が具体的でとてもわかりやすく、概ね理解できるが、さらに地域の回覧・ホームページ・諸活動等、折あるごとに積極的に発信し、保護者や地域に広め目標が共有できるよう願います。(回覧「青空高く」に教育目標・目指す学校像の掲載は、毎回確認でき効果的です) ○生徒が目標を達成するために具体的に何をしたらいいのか分かりやすく説明すると、生徒の評価が上がってくると思う。 教育目標や教育方針については、ホームページや学校だよりを通して引き続き周知していく。 ○目標・教育方針・重点も詳細に設定されている。学校だよりや地域への回覧を通して定期的な周知により浸透している。ホームページ配信を有効的に活用している。</p>
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価が17ポイント下がったが⑤の回答が19ポイントであったので、学級経営に関わらない職員の回答が⑤に移行したと考えられる。生徒の①の回答が9ポイント下がっている。保護者の肯定的回答が12ポイント下がって「生徒のよさや可能性」を伸ばす指導が十分ではないと受け止められているようだ。</p>
	生徒	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒の否定的回答が10%あることを考えると、人間関係づくりやリソーストレーニングを計画的に行い、友達関係のトラブル防止や解決のスキルを養う取組を行っていく。教職員は生徒のよさや頑張りを共有し認めていく姿勢を全体で持ち、生徒や家庭に積極的に発信するように努める。</p>
	保護者	②学校は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○教室の掲示等、心の教育につながる教室環境づくりが行き届いている。 友達や担任と相談できるよりよい人間関係づくりを、日頃から大切にしている様子が「学び合い学習」で多く感じ取ることができます。 ○教職員で生徒のよさを共有し、面談等で保護者に伝えるようにする。 ○生徒が安心して学べ、人権を尊重し、多様性を受け入れ、他者への思いやりを持てるよう導いてほしい。 教室・廊下の掲示物もよく整えられ、生徒の成長の成果がみられる。「ありがとう」の言葉が増え、笑顔あふれる鶴中であり続けてほしい。</p>
	地域	②学校は、生徒のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導	教職員	③私は、生徒が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の①の評価は12ポイント下がった。「学び合い学習」の取組を進めている過程での難しさに直面している様子がある。生徒の肯定的評価は約9割、保護者、地域の肯定的評価は約8割と低くない評価を得ている。しかし昨年と比べると肯定的な評価が5～10ポイント下がっているのは課題である。</p>
	生徒	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>「学び合い学習」について次年度も継続して研修と実践を行っていく。また各学力調査の結果を分析し授業改善の効果を検証し、学力向上を目指す。</p>
	保護者	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○生徒一人一人が能動的、意欲的に「学び合い学習」をとおして意見発表・教え合い、一人ぼっちを作らない授業づくりが実践されていると思われます。 ○学び合い学習について、他の学校の様子も参考にしよいものを取り入れるようにすると思う。 ○工夫・研究された授業により、興味深く、生徒も探究心を持ち集中して学習できている。学び合い学習も定着している。</p>
	地域	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導②	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	評価結果についての分析・課題 教職員の肯定的評価は9ポイント下がったが⑤の回答が14ポイントであることを鑑みるとあまり変化はないと思われる。この項目でも、生徒の肯定的評価は約9割、保護者、地域の肯定的評価は約8割と、低い評価を得ている。昨年度との比較した場合の減少分も、⑤の回答割合でほぼ相殺できている。
	生徒	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	課題解決への方策 「学び合い学習」とも関連づけ、学習用端末やICT機器の効果的な使い方について継続して研修を行い、実践を積み重ねていく。またその効果の検証も学力調査の結果をもとに行っていく。
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	学校関係者評価委員会による評価 OICT機器の活用により一人一人の能力や適性に応じて学習が深められ、学習意欲や関心がより高まると思われます。先生方の準備や様々な工夫により、わかりやすい授業が成果に繋がっており、先生方の尽力に感謝します。 O学校での基本的な端末指導をもとに、家庭では応用的な学習を身に付けていけば良い。IT能力が身に付いていくのでは。但しAIは控えるべきと思います。 O学習用端末を使用し始めて年月が経ってきていて、生徒たちも慣れてきているように感じる。引き続き継続していく。 O生徒はリモートやタブレット活用により、深い知識や視野を得て学んでいる。ICT教育や生成AI活用など、変化する教育現場での対応される先生方に敬意を表します。メリットも多い中、デメリットの心配面もある。
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の否定的回答は5%だけで、生徒の体力向上の機会は設けられている。しかし、生徒の意識では5人に1人は体力向上の努力をしていないと回答している。また保護者、地域の肯定的評価は約8割と、低い評価を得ている。生徒の体力向上への意識を醸成していく必要がある。</p>
	生徒	⑤私は、体育や休み時間・部活動等で、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校教育目標の1項目である「心身を鍛える」について各人に具体的な目標を立てさせ、体力向上にも取り組ませる。また、体力の重要性に気づかせるような指導を折に触れ行っていく。</p>
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○教員も生徒も一丸となった体育祭をはじめとして、諸行事や部活動など全員が全力で取り組む様子は、体力の向上のみならず年々鶴中生の心身の成長があり、たくましく生きる力が育まれるとよいと思います。 ○鶴ヶ島昭和33年～35年頃の体力が近年の生徒に戻ってきたような嬉しいニュースが素晴らしい。 ○体育指導、部活動、その他行事を終えるごとに、精神面・体力面と成長がみられた。生活の利便化、生活様式の変化で低下する能力は否めない。健康維持、成長にも食事・睡眠・運動の必要を感じる。 ○体力向上のために具体的に何をしたらいいか、示していく。</p>
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導 ①	教職員	⑥私は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の評価では①は7ポイント減、肯定的評価は21ポイント減と、⑤のわからないの割合では相殺されない減少割合である。家庭や保護者との連携・協力が難しさを感じている様子が伺える。生徒の肯定的回答は80%弱、保護者の肯定的評価は6割となっている。いじめやトラブルに対して本人、学校、家庭が連携して解決に取り組む、という意識を共有する必要があると思われる。</p>
	生徒	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>心配なことがあった場合、教員や保護者に相談することの意識を生徒に持たせる指導をする。教員に相談があった場合は本人の心情に寄り添い丁寧に聞き取ること、すぐに家庭に連絡し保護者と協力して解決に取り組むことを徹底する。</p>
	保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○生徒中心に「いじめ撲滅宣言」を採択し「みんなでいじめをなくしていこう」は一人一人が3年間守り抜けるよう、合言葉としていじめゼロを目指してほしい。 一人一人の生徒に寄り添い、学力とともに人生を選んで生きる力の指導、支援をお願いします。 ○鶴中付近で下校時などすれ違うとよく挨拶してくれる様に思われます。 ○相談しやすいように環境を整え、生徒が大人に相談できる、相談しやすいと思えるようにしていく。 ○SNSの使い方指導やいじめ対策等、生徒に寄り添いなされている。学校は関係機関との連携を図っている。地域でも小さなサインに気づき、見逃さず、情報を共有し見守っていききたい。</p>
	地域	⑥学校は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導	教職員	⑦私は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>職員の①の回答は31ポイント上昇し、意識して指導にあたっていることが伺える。しかし生徒の①の評価は15ポイント減少、肯定的評価も8ポイント減少した。保護者の肯定的回答も13ポイント、地域の肯定的回答も25ポイントそれぞれ減少した。教職員の意識と保護者の意識の乖離の原因を探る必要がある。</p>
	生徒	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。		<p>課題解決への方策</p> <p>校務支援システムの「いいとこみつけ」を引き続き活用し、生徒のよさや可能性を知る努力をする。また、授業参観や三者面談の機会を活用し、保護者が感じている「わが子のよさ」を把握し指導に役立てるとともに、学校生活における生徒のよさを積極的に発信していく。</p>
	保護者	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○全体的には素直で明るく中学生らしいと好印象です。「学校生活が楽しい」と多くの生徒が感じられるよう、生徒一人一人の努力やつまずきに寄り添い、教職員共通の生徒理解を深めていただきたい。 ○学校内での様子と家での姿が違う生徒が多いと思うので、教職員と保護者で面談等を利用して双方のよさを知る必要がある。 ○集団生活における基本的マナーや社会性を身につけてほしい。「いいとこみつけ」活動、これからも推進してほしい。道徳授業の重要性を感じる。</p>
	地域	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の①の評価は20ポイント増加したが、保護者の肯定的評価は11ポイント減少し6割を切っている。学校と保護者の評価が大きく乖離している。個別の特性の理解が十分でない、家庭と連携した個に応じた指導がなされていない、と感じる保護者が3割程いるのが現状である。</p>
	生徒	⑧私は、苦手なことなどを、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>保護者と連携を密にとり生徒の特性について共通理解を深める。そのうえで、学校ができること、家庭がやることなどを明確にし、連携・協力して指導にあたる。</p>
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○担当職員は一人一人の特性を理解されて授業や学校生活を支援、指導されていることと思います。授業を参観した折には考えたり発表したりと、よい人間関係が築かれている様子がよかったです。 ○我々学校応援者としては解放されている畑等があれば少しは生徒、先生方の手助けができると思います。 ○多くの情報収集が必要なので、保護者、教職員とで頻りに連絡を取り、共通理解を持つ必要がある。 ○生きづらさや障がい者の理解を学べている。生徒にもきめ細やかな指導がなされている。福祉体験授業や教科の中で、多様性社会に対応し学んでいってほしい。</p>
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
地域とともにある学校	教職員	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価は76%であり、地域とともにある学校づくりの重要性に対する意識はやや低い。保護者の肯定的評価も62%であり同様に低い。地域の方は肯定的評価が88%と高く、協力的な様子が見える。学校と地域(家庭・保護者)が手を携えて学校運営を行っていく意識を醸成する必要がある。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>保護者や地域の方に、学校の教育活動に協力いただく機会を多く設け、地域や保護者に支えられる学校の実現を目指す。また、中学生が地域の活動に参加する機会づくりを推進し、中学生が地域の一員であることの自覚を促していく。</p>
	保護者	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○地域の伝統行事、日光街道の清掃、高齢者とのボランティア活動等、多くの生徒が主体的に関わることは、地域の中学生として徐々に評価されているようです。学校応援団の更なる広がりや継続のため、顔合わせの機会を設けるとよい。 ○学校が地域の人にとって敷居の低い所である認識をもってもらう事が望ましいのでは？ ○ボランティア活動等を通じて地域の方々と交流する機会が増えているので、今後も中学生の活躍できる地域活動を生徒たちに伝え、積極的に参加してほしい。 ○鶴中生は自主活動、ボランティア活動で地域貢献していて素晴らしい。地域の人にも素直で思いやりのある生徒が多いと褒めている。</p>
	地域	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<table border="1"> <caption>評価結果の割合</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	割合	①	48%	②	14%	③	24%	④	5%	⑤	10%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の①の評価は7ポイント上昇した。しかし肯定的評価は24ポイント減少した。つまり②の評価が30ポイントほど減少したことになる。職員は働き方改革の必要性は理解しながらも、どうにもできない現状にやや諦めの気持ちになってしまっている様子がある。学校全体で業務改善の方策について知恵を出し合い改善を図っていく。</p>
	評価項目	割合														
	①	48%														
	②	14%														
③	24%															
④	5%															
⑤	10%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>学校評価で出された意見を各部会で検討、実現可能な方策を考え実行していく。</p>													
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○学校では未来を担う生徒一人一人がたくましく生きる力を身につけるため、先生にしかできない教育活動に(心身の健康に努めながら)(元気で明るい先生)取り組んでいただきたい。 ○西中、鶴中との合併が実施されれば良い事、悪い事が予想されます!! ○健康的に心も健康に過ごせるように、教職員同士で協力・声かけが必要。 ○家庭の問題や発達障害、不登校、いじめ問題、親対応等山積みの中、管理職の先生はもとより先生方の負担を減らせたらと思う。もっと現場の声を聴き職員を増やし、給料や事務的軽減等、適正な働き方改革を希望する。</p>													
地域																